

なげ、市民の応援機運を高めていき
たい。

また、リージョナルクリエイション
長崎が進めている「長崎スタジアムプ
ロジェクト」ともしっかり連携してい
くため、本市でも副市長を統括者とす
る「長崎サッカースタジアム検討推進
チーム」を設置し、周辺交通や都市計
画についての連携、調整や各種支援措
置の検討に取り組んでいる。今後も、
事業者と密に連携を図りながら、プロ
ジェクトの円滑な推進を支援してい
きたい。

長崎ランタンフェスティバルの 来場者数

問 ことしの来場者数は56万人と発表
されたが、出店者等の現場の感覚と大
幅な差があるように思える。どのよう
に算出しているのか。

答 2020長崎ランタンフェスティ
バルの来場者数は、新型コロナウイルス
ス感染症拡大の影響で、例年の約40%
減となった。その算出方法については、
民間事業者の一部業務を委託し、期間
中の4日間、3地点における実測のほ
か、主要観光施設の入場者数、宿泊施
設の稼働率、イベント運営スタッフへ
のヒアリング結果などを踏まえた、推
計値を積算している。

来年度は100万人を超える来場者
数を目指し、既存のイベントの磨き上

げに加え、
来場者が参
加して楽し
めるイベン
トづくりな
ど新たな魅
力の創出に
向けて取り
組んでいき
たい。



▲長崎ランタンフェスティバル

日本共産党

気候変動に対する取り組み

問 昨今、気候変動が原因と推察され
る災害が後を絶たないが、将来、少し
でも軽減されるよう「気候非常事態宣
言」を提案し、市民とともに行動を起
こすべきと考えるが見解を伺いたい。

答 近年、国内においても異常気象が
頻発しており、本市でも地球温暖化の
影響は身近なものとなってきている。

この気候変動による影響を鑑み、国
内でも吉岐市をはじめ14の自治体が
「気候非常事態宣言」を行っているが、
本市でも市民一人ひとりの環境に配慮
した行動を促す「ながさきエコライフ」
の取り組みや、CO2削減と新たな脱
炭素事業の創出を目指す「地域エネル
ギー事業」の実現など次世代につなぐ
取り組みを進めてきている。

本市としても地球温暖化対策は喫緊
の課題と認識しており、この宣言も含
め、市民全体に広がり浸透していくよ
うな効果的な取り組みを検討してい
きたい。

市営住宅空き駐車場への 介護車両の駐車

問 入居者への介護サービス提供のた
めの車両の一時的な駐車を無料とする
考えはないか。

答 現在、市営住宅の駐車場において、
入居者を介護する親族や介護サービス
事業者等に限定して、入居者へ目的外
使用許可を出すことにより、有料で使
用していただいている。

今後、市営住宅入居者の高齢化等に
より、介護サービス事業者による短時
間の駐車に対する需要がふえてくるも
のと考えられるため、それぞれの団地
における駐車スペースの必要性や、そ
の確保、特定の車両による長時間駐車
など整理すべき内容はあるが、介護
サービス利用者
による短時間の
無料駐車が可能
となるよう、入
居者の皆様と十
分に協議しなが
ら取り組んでい
きたい。



(個人質問)

明政クラブ

生活道路・河川・公園等修繕 要望書のデータ化

問 自治会要望書は手書きで手間がか
かるため、スマートフォンアプリを活
用して提出することで、負担が軽減し、
さらにはデータの一元管理によって、
事務の効率化につながるのではない
か。

答 現在、市職員を対象に、スマート
フォンアプリを用いて道路の異常箇所
を通報できる道路異常箇所通報シス
テムを平成29年度から運用しており、対
応の迅速化や事務の効率化を図って
いる。

自治会要望書のデータ化については、
このシステムを応用し、誰もが簡単に
操作できるものにするため、まずは一
部地域で試験的に運用を行い、でき
るだけ早期の本格導入に向けて検討を進
めるとともに、本格導入に当たっては、
地域センターで使い方の説明会を行う
など、必要な支援を行いたい。



▲道路異常箇所
通報システム